

装置内に使用しているポリウレタンチューブを変更します

はじめに

従来から弊社の装置内に使用している潤工社製ウレタンチューブは、生産時の摺動性の確保、および耐候性を維持するために、ウレタン以外の材料を含有しています。この含有物が経年で変化し、チューブ内の外壁に析出することが確認されました。

析出物は条件によっては、装置内の流体ラインに混入するおそれがあります。現在までに問題になったことはありませんが、クリーン対応が促進されていることも鑑み、順次、含有物を含まないアオイ製耐摩耗ポリウレタンチューブ ARU シリーズに変更します。変更後のポリウレタンチューブは、従来品で懸念されていた銅イオンで黄変する問題を解決し、ファシリティのディスコの推奨圧力に対応しています。

対象機種

全機種（周辺装置も含む）

変更の開始時期

ランニングチェンジにて、順次、展開していきます。
装置内で新旧のポリウレタンチューブが混在することもあります。ご了承くださいませようお願いいたします。

新しいポリウレタンチューブ：アオイ製耐摩耗ポリウレタンチューブ ARU シリーズについて

- ・装置に使用している標準の継手とのマッチングテストに合格しています。
- ・装置内の引き回しに際して従来品と遜色が無いことを確認しています。

お問い合わせ

本件についてのお問い合わせは、弊社営業担当、またはカスタマーエンジニアまでお願いいたします。
